

中部学院大学報

# PAULOWNIA<sup>+</sup>

ポローニア プラス

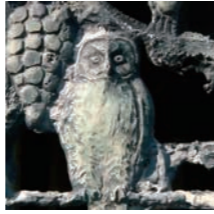
CHUBUGAKUIN DIGEST



2011年に中部学院大学報をリニューアルして  
10年が経とうとしています。

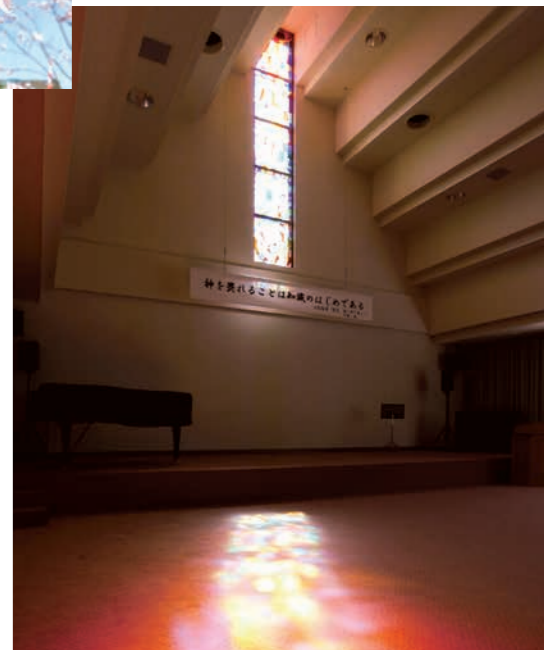
この度、皆さんからの  
ご要望や時代のニーズに合わせて、  
紙面を一新することになりました。  
新しくなった中部学院大学報を  
これからもよろしくお祈いします。

発行 | 中部学院大学報編集委員会



表紙写真

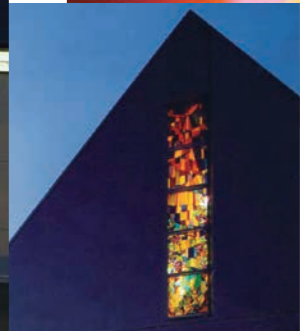
短期大学部社会福祉学科美・デザインコースならびに医療事務コース「SNS活用論！」で撮影した同学科1年余語杏香さんの作品より「各務原キャンパス・グローリアホール」



2021 Vol.46

## Contents

- P 04 SPECIAL FEATURE 01  
中部学院大学 SDGs 宣言
- P 06 SPECIAL FEATURE 02  
ホームページリニューアル
- P 08 SPECIAL FEATURE 03  
岐阜県教育文化財団と連携
- P 10 CLUB & CIRCLE
- P 12 保護者の皆さまへ
- P 14 TOPICS



PAULOWNIA+  
Vol.46

# SPECIAL FEATURE 01

## 中部学院大学SDGs宣言

### SDGs×中部学院大学 2030 Vision

# 世界とともに 生きる、を学ぶ



### 中部学院大学×SDGs 2030 Vision 宣言

私たちは「生きる、を学ぶ」という教育理念の下、未来の地域社会に貢献する人材の育成に努め、長年にわたり多くの卒業生を輩出してきました。本学は、これからも福祉、教育、医療、スポーツの領域を軸に、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなす「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」に取り組み、ここ岐阜の地から、持続可能な社会の実現に向けて邁進してまいります。世界とともに 生きる、を学ぶ。

2021年10月 中部学院大学 学長 古田 善伯  
中部学院大学短期大学部 学長 片桐多恵子

### 取組方針

中部学院大学・同短期大学部は、主に以下の目標について取り組み、その成果を報告します。

- 3. すべての人に健康と福祉を
- 4. 質の高い教育をみんなに
- 5. ジェンダー平等を実現しよう
- 11. 住み続けられるまちづくりを
- 12. つくる責任 つかう責任
- 17. パートナリシップで目標を達成しよう



### 中部学院大学SDGs宣言イベント 教職合同研修で「SDGsシンポジウム」を開催

SDGs (Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)は、2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際的な目標です。

本学でもこれまで、さまざまな研究分野や地域連携事業などでSDGsの取り組みが展開されてきましたが、今後は大学全体としてもSDGsに取り組んでいきます。

その前提として、今秋に中部学院大学SDGs宣言を行います。SDGsの本学の取り組みを理解した上で、本学の魅力を再整理して、グローバルな視点から学生育てや地域貢献を考えていきます。

今後もSDGsの切り口から進めていくことは、大学のプレゼンスがより一層高まっていくことと期待しています。福祉、教育、医療、スポーツの領域を軸に、SDGsに取り組みながら、ここ岐阜の地から、持続可能な社会の実現に向けて、新たな一歩を歩み出していきます。「与えられた環境下で、最適解を」導き、地域社会、国際社会に貢献する大学であり続けたいと思っています。(SDGsシンポジウム基調講演より)



江馬 諭  
副学長



これまで本学が行ってきたSDGsへの取り組みを発表するパネリストの教授ら=関キャンパス

今秋に中部学院大学・中部学院大学短期大学部としてSDGs宣言を行うのにあたり、全教職員にSDGsを理解する契機にしようと、例年行っている教職員向けの研修会の中で、SDGsシンポジウムを開催しました。

本学ではこれまで、それぞれの教授陣を中心に、国連が定めた国際社会共通の目標である持続可能な開発目標 (SDGs) に関連する取り組みや研究などを行ってきました。また、2030年までの行動指針となる2030Vision策定の準備を進めてきました。今回の宣言では、大学全体としてSDGsの目標を掲げ、取り組んでいきます。

宣言のイベントとして行ったシンポジウムでは、江馬諭副学長が「持続可能な大学運営を考える—SDGsを切り口に—」と題して、基調講演を行いました。引き続き開催したパネルディスカッションでは、これまで実践してきた教職員がパネリストとして登壇し、それぞれの事例を紹介しました。

大学の古田善伯学長は「これまでもSDGsの取り組みが行われてきた。それらの取り組みを整理しながら、行動指針に取り入れていきたい」、短期大学部の片桐多恵子学長は「一人一人の教職員がそれぞれの立場からSDGsに関わり、大学全体として取り組んでいきたい」と抱負を語りました。

### パネルディスカッション

#### パネリスト

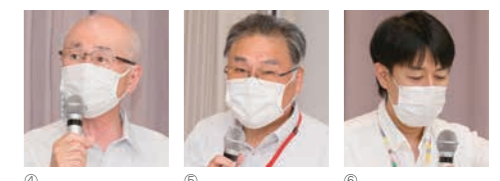
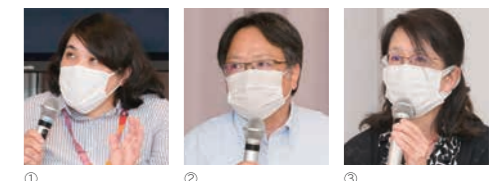
- ① 水野 友有 准教授 (人間福祉学部人間福祉学科)  
ダイバーシティ(現時点ではLGBTQ)研究  
2016年から関高等学校の探求活動との連携した研究
- ② 西嶋 力 教授 (看護リハビリテーション学部理学療法学科)  
高齢者の健康づくりを支援するタオルであしゆび体操の開発
- ③ 杉山 祐子 教授 (短期大学部幼児教育学科長)  
「SDGs in 地域連携」"命を育む" 持続可能な活動
- ④ 飯尾 良英 教授 (地域連携推進センター所長・人間福祉学部長)  
中部学院大学×JICA  
ダナン市・グハンソン地区の地区病院を中心とする  
老年ケア・プログラム定着と人材育成事業
- ⑤ 篠田 嘉弘 総務部長 (事務局)

#### コメンテーター

江馬 諭 副学長

#### ファシリテーター

- ⑥ 野口 晃一郎 氏 (企画戦略課・講師・SDGs カタリスト)



# SPECIAL FEATURE 02

## 中部学院大学ホームページリニューアル



### 読み手目線を大切にー

この度、大学ホームページを全面リニューアル致しました。今回の目的は、「大学ホームページが担うべき役割を果たす」この一言に尽きます。リニューアルに際して、学内外で行った大学広報室、企画部、制作会社のロフトワークによる丁寧なインタビューとヒアリングの実施により、明確なコンセプトの設定と独自コンテンツを生み出すことができました。そして、高校生や保護者の方々、地域の皆さんなど、読み手目線を大事にしながら、全体の構成から細部の表現方法に至るまで検討し、精査していきました。今回のリニューアルによりスマートフォンなど、さまざまな画面サイズに対応した最適な表示ができるようになっています。今後も継続的にコンテンツの充実を図り、積極的な情報発信に努めてまいります。



片桐史恵  
副学長

- 01
- 02
- 03
- 04
- 05

### Point 1 SPECIAL CONTENTS

創設以来100年を超える歴史を持つ本学の卒業生は、ローカルそしてグローバルに活躍しています。あなたの街にもいるかもしれない、地域に新しい関わりを芽吹かせている「生きる」スペシャリストを紹介する新企画です。さまざまな分野で活躍している卒業生を順次取り上げていきます。



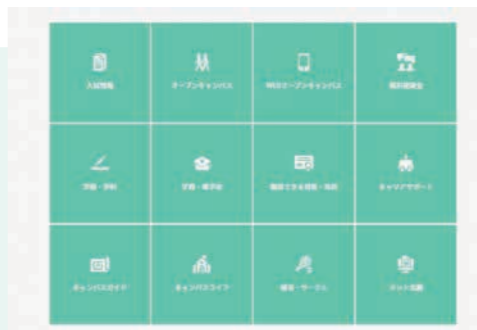
### Point 2 CHUBUGAKUIN REAL

緑豊かな自然環境と都会の快適さをあわせもつ好環境のロケーション。「学内の雰囲気は?」「通うのは大変?」「地域社会の評価は高いというけど、実際のところは?」「みんな就職できている?」など、外からは見えづらい、中部学院大学・同短期大学部のリアルを紹介しています。



### Point 3 受験生サイト

これまで受験生用サイトとして運用していた「つながるweb」をサイトに取り込み、受験生が知りたい情報を見やすくしました。項目も「入試情報」「学費・奨学金」「取得できる資格・免許」「キャンパスライフ」などアイコンを押すだけで、知りたい情報にたどり着けるようになっています。



#### 学生などの声

- 前よりもおしゃれな感じになった
- シンプルで見やすくなり、情報が得やすくなった
- すぐ雰囲気が変わって良い
- 写真が多く使われていて、大学のおしゃれなイメージが伝わってくる
- 清潔感のある雰囲気を感ずる
- 受験の時に収集したい情報がすぐ見つけれられる ほか

# SPECIAL FEATURE 03

## 岐阜県教育文化財団と包括連携協定を締結



締結を記念して行われた第1回中部学院×TASCぎふ(岐阜県障害者芸術文化活動支援センター)コラボ作品展「人(ひと)と間(あわい)」展=関キャンパス・クリスタルホール

中部学院大学ならびに同短期大学部は岐阜県教育文化財団と、障がい者の芸術など文化活動の振興に関する包括連携協定を締結しました。

今回の協定の主な目的は、障がい者の芸術文化活動の推進や未来を担う人材育成など、地域社会に寄与すること。連携内容は、障がい者芸術に関する学術研究や普及活動をはじめ、芸術文化活動を支援する人材育成、障がい者の社会参加と地域福祉の向上などです。

締結式は8月4日、関キャンパスで行われ、同財団の高木敏彦理事長、大学の古田善伯学長、短期大学部の片桐多恵子学長らが出席しました。高木理事長は「(障がい者の)芸術文化の裾野を広げていくことが大切。今回の締結を機に、教育や福祉の知見を得ながら、芸術文化を社会につなげていく人材育成を進めていきたい」、古田学長は「これまで本学は障がい者に関わる機会が多々ありましたが、これからさらに取り組みを具体化しながら深めていきたい」、片桐学長は「これまでのいろいろな活動などが実り、この日を迎えることができました。障がい者の芸術と緩やかに交わりながら、これからも『共に』実行していきたい」と期待を膨らませました。



障がい者の芸術など文化活動の振興に関する包括連携協定を締結した写真。左から大学の古田善伯学長、岐阜県教育文化財団の高木敏彦理事長、短期大学部の片桐多恵子学長、関キャンパス

今後実施される具体的な内容を紹介すると、共同研究では、「岐阜県における障がい者の芸術文化活動とその支援の現状と課題について」「芸術文化活動を経験した障がい者の発達と支援に関する事例研究」「障がい児者の支援における芸術文化活動のインタビュー調査」などを進めていきます。そのほかにもシンポジウムや講演会などの開催、学内における障がいのある作家の作品展示、大学図書館での障がい者芸術文化活動の資料コーナーの設置などを行っています。

今回の締結を記念し、障がい者の芸術文化を広く知ってもらう「アウトリーチ」の一環として、関キャンパスのクリスタルホールで、第1回中部学院×TASCぎふ(岐阜県障害者芸術文化活動支援センター)コラボ作品展「人(ひと)と間(あわい)」展を行いました。第1弾は「そのうちNY」として、関市出身の大野慧正(あきまさ)さん(享年24歳)が手掛けた作品9点を展示。学内外の多くの人たちが関心を持ちながら、作品に見入っていました。

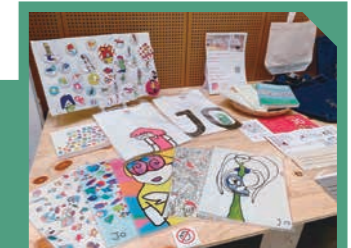
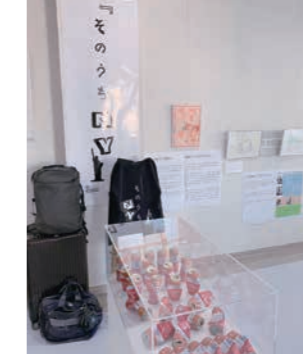
本学と岐阜県教育文化財団はこれまで、さまざまな連携事業を実施してきました。本学客員教授でシンガーソングライターの新沢としひこさんのコンサートや、ぎふ清流キャンパス講座として「教育フォーラム2019」を開催してきました。

同財団が主催した「いろんなみんなの展覧会『種を、まく』」

では、本学のボーダレスアート研究チームが出展しました。同チームは、発達心理学を専門とする人間福祉学部の水野友有准教授と、美術教育を専門とする教育学部の八桁健講師、将来保育者を目指している教育学部の田中杏佳さんと廣海早紀さんの4人で結成し、2019年から活動を展開しています。展覧会では、「あたりまえ」から飛び出せる専門家をめざして「障害者アートを通しての学び」をテーマに、障がいのあるアーティストJo(荻下文)さんと取り組んできた「Jo's World」というプロデュース活動を紹介しました(写真)。大学生や大学人として、障がいのある人たちやアートと「まじわり」、それぞれの立場や視点から子どもの表現や自分自身の表現について考えています。



関キャンパスのクリスタルホールで開かれた「人の間(HITO NO AWAI)」展より



# CLUB & CIRCLE

## ゴルフ部

全国大学対抗戦 女子が準優勝  
個人では2選手がプロツアーに参戦

ゴルフの第58回全国大学対抗戦ならびに第44回全国女子大学対抗戦が6月24、25の両日、石川県加賀市の片山津ゴルフ倶楽部で行われ、女子は過去最高となる準優勝を飾りました。男子は5位入賞しました。

本学ゴルフ部の女子チームは、初日は4位(293ストローク)スタートでしたが、2日目に首位と2打差(579ストローク)まで追い上げました。男子チームは、初日は首位(282ストローク)に立ち、強豪校を揺さぶりましたが、2日目は2位から5位までが3打差にひしめき、わずかに及ばず5位(571ストローク)となりました。

個人では、男子の笠原瑛(あきら)選手(スポーツ②/広島・瀬戸内高校出身)が日本男子ツアー「中日クラウンズ(4~5月・名古屋ゴルフ倶楽部 和合コース/6557ヤード・パー 70)」に出場しました。国内ツアーでは珍しいレフティー(左利き)の笠原選手。初日は雨天中止となり、実質初日となった2日目は首位と2打差の4位と好発進。3日目は見事予選を通過し、最終的に通算3アンダー 15位タイ(207=66・71・70)でベストアマチュア賞を獲得しました。

女子の青井麻瑚選手(同④/愛知・栄徳高校出身)は、東海テレビ杯争奪中部学生ゴルフ選手権(5月・三好カントリークラブ)で優勝したほか、日本女子ツアー「中京テレビ・ブリヂストンレディスオープン(5月・中京ゴルフ倶楽部石野コース/6486ヤード・パー 72)」にも出場。予選敗退でしたが、キャリアを積み重ねました。



全国女子大学対抗戦で準優勝と躍進したゴルフ部の女子チーム=石川県加賀市、片山津ゴルフ倶楽部



全国大学対抗戦に出場した男子チーム=同



中日クラウンズでベストアマチュア賞の笠原瑛選手



中京テレビブリヂストンレディスオープンに出場の青井麻瑚選手

### 全国大学対抗戦 出場選手

【男子】水田竜昇(4年/埼玉栄)棚町駿(4年/香川・藤井学園寒川)服部雅也(3年/愛知・岡崎城西)富田幸暉(3年/福井工業大学福井)長谷川貴優(2年/各務原)笠原瑛(2年/広島・瀬戸内)

【女子】青井麻瑚(4年/愛知・栄徳)圓角育未(4年/金沢学院)小島彩夏(3年/愛知・中部大学第一)荒川怜郁(2年/沖縄・コザ)伊佐治瑚乃(2年/愛知啓成)生駒莉莉(2年/中部大学第一) ※いずれもスポーツ健康科学部

## 空手道部

全国大会に男女14名が出場  
東海予選 男女形でそれぞれ上位を独占

7月に兵庫県姫路市で行われる空手道の全日本学生選手権に14名が出場しました。東海地区代表選考会(5月・愛知県豊田市)では、男子形で渡邊尚樹選手(人間福祉③/山梨・日本航空高校出身)が、女子形で川上友維選手(スポーツ③/大阪学芸高校出身)がそれぞれ優勝するなど上位を独占して各4枠を獲得。男子組手は4枠、女子組手は2枠を獲得しました。



全国大会に出場した空手道部員

### 出場選手

【形】男子 渡邊尚樹(人間福祉③/山梨・日本航空)谷口璃空(スポーツ④/大阪・浪速)高杉龍之介(同②/愛知・東邦)杉山優希(同①/静岡・東海大学付属静岡翔洋) 女子 川上友維(スポーツ③/大阪学芸高校)三島きり(同③/島根・出雲工業)中路陽紗乃(同④/兵庫・夙川学院)西百香(同①/山口・下関国際)

【組手】男子 盛一拳斗(スポーツ④/石川・小松大谷)吉田優太(人間福祉③/愛知産業大学工業)面晶大(スポーツ③/小松大谷)小澤優希(同②/埼玉・花咲徳栄) 女子 山口めぐみ(教育②/静岡・浜松開誠館)生魚瑠那(スポーツ②/花咲徳栄)



## バレーボール部

東海リーグ男子1部に昇格  
5部からスタート 創部以来の悲願

東海大学男女バレーボールリーグ男子2部の男子バレーボール部は、同リーグ春季大会で7戦全勝を挙げ、創部以来初となる1部昇格を果たしました。最優秀選手賞およびセッター賞を受賞した後藤大希主将(スポーツ④/岐阜聖徳学園高校出身)は「昨年は2部残留と足踏みしましたが、今季は結果を出せて良かったです。今後もステップアップしていきたい」と抱負を話しました。

## 硬式野球部

岐阜リーグ 3季連続17度目V  
東海大会への出場は辞退

激戦の春季岐阜学生リーグを9勝3敗(不戦敗の2敗を含む)で、3季連続17度目の優勝を飾りました。全日本大学野球選手権出場を掛けた春季東海選手権は、部内に新型コロナウイルス感染症の陽性者が出たため出場を辞退しました。最優秀選手賞には三塚武蔵選手(スポーツ③/県立岐阜商業高校出身)、最優秀投手賞に秋田稜吾投手(同④/神奈川・東海大相模高校出身、写真右)に選ばれました。



## 陸上競技部

2選手が全国大会に出場

女子ハンマー投げで大森彩椰選手(幼児教育①/済美高校出身、写真左)が日本学生個人選手権大会、U20日本陸上競技選手権(ともに6月)、日本インカレ(9月)に出場。競歩では則武桃佳選手(スポーツ②/愛知・至学館高校出身、写真右)が全日本競歩輪島大会女子10kmW(4月)に出場しました。



# 保護者の皆さまへ

本学では建学の精神や大学の教育方針などについて、保護者の皆さまにも理解いただけるようにしています。  
本年度、後援会総会が中止となりましたので、後援会役員会の決定事項などをまとめました。

## 後援会総会の中止

5月15日(土)、関キャンパス後援会室で第1回役員会開催の予定をしていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止することとなり、書面議決により審議させていただきました。  
後援会会則では、役員会の決定事項は総会に報告しなければならないとなっておりますが、今年6月に開催予定であった後援会総会は中止となりましたので、本会の決定事項である事業報告・決算報告などを大学報掲載により報告と代えさせていただきます。

後援会新役員は、次の皆さんです。加えて各学科学年より計42名の理事が選出されています。1年間よろしくお祈りします。

■会長／朝倉 義孝 ■副会長／杉本 浩隆 ■副会長／梶谷 増美 ■監事／安藤 一郎 ■監事／篠田 智美



朝倉後援会会長

## 保護者懇談会の開催

2021年度の保護者懇談会を昨年に引き続き、オンラインで6月5日(土)に開催しました。学科別説明会・個別懇談会には約110名の保護者の方々に参加していただき、「詳しい説明を聞くことができ参考になった」「大学の取り組みが理解できた」等の感想をいただきました。  
また、地区別保護者懇談会については中止とさせていただきます、オンラインによる保護者懇談会に代替開催とさせていただきます。

### 2020年度 事業報告

[役員会]▶第1回 5月16日(土) 2019年度事業・決算報告、監査報告/新役員の選出/2020年度事業計画・予算の承認/後援会総会の中止および保護者懇談会の延期について 他 ▶第2回 9月27日(日) 後援会総会中止に伴う会員報告および保護者懇談会の開催概要/会計中間報告/大学の近況・コロナウイルス感染症の対応 他▶第3回 3月6日(土) 2020年度事業・会計中間報告/2021年度事業計画(案) 他  
[総会]中止の代替として報告事項を大学報掲載にて郵送  
[保護者懇談会] オンラインにて10月~11月に開催 参加者数105名(大学91名・短大14名) 内訳(延べ)学科別説明会40名・個別懇談会70名・対面、電話による懇談9名  
[大学報発行]年2回(10月、3月)  
[後援会修学資金の運用] 通年  
[大学行事等への参加・協力]▶入学金(中止) 4月3日(金) ▶大学祭・学びの森フェスティバル合同~みてみん祭~参加イベント11月~12月/オンライン12月12日(土) ▶いきいき地域!!たのしみん祭 12月12日~1月30日オンライン ▶ホームカミングデー(中止)  
▶第29回中部手話スピーチコンテスト(中止) 11月14日(土)  
▶ブロードコンサート(中止) 12月12日(土) ▶卒業式 3月20日(土・祝) 長良川国際会議場

### 2021年度 事業計画

[役員会]▶第1回 5月15日(土) 役員候補者の選出/2020年度事業・決算報告、監査報告/2021年度事業計画・予算の承認 他 ▶第2回 10月2日(土) 保護者懇談会報告/会計中間報告/秋の学生行事 他 ▶第3回 3月5日(土) 2021年度事業・会計中間報告/2022年度事業計画(案) 他  
[総会・保護者懇談会]6月5日(土) 通常の総会は中止とし、報告事項は、大学報掲載に代える。保護者懇談会はオンライン開催とする。  
[大学報発行]年2回(10月、3月)  
[後援会修学資金の運用] 通年  
[大学行事等への参加・協力]▶入学金 4月2日(金) 長良川国際会議場 ▶保護者懇談会 6月5日(土) オンライン ▶いきいき地域!!たのしみん祭・大学祭・ホームカミングデー 10月16日(土) ▶学びの森フェスティバル 11月3日(水・祝) ▶第30回中部手話スピーチコンテスト 11月20日(土) 各務原キャンパス ▶ブロードコンサート(中止) 12月12日(土) ▶卒業式 3月19日(土・祝) 長良川国際会議場

注意 2021年5月15日時点の事業計画であり、中止等の可能性もあります。

## 2020年度 後援会 決算報告書 (2020年4月1日~2021年3月31日) (単位:円)

【収入の部】				
項目	予算	決算	差異	備考
会費	60,928,000	59,579,000	1,349,000	2020年度会費59,200,000円 遺年度会費他379,000円
雑収入	100	250,714	△250,614	預金利息及び慶弔に伴う戻入れ等
前年度繰越金	11,532,803	11,532,803	0	
収入の部 合計	72,460,903	71,362,517	1,098,386	
【支出の部】				
項目	予算	決算	差異	備考
会議費	400,000	93,705	306,295	役員会議費、交通費
事務費	150,000	41,070	108,930	事務用品、会計システム更新料
事業費	61,000,000	35,663,309	25,336,691	
大学報発行費	1,200,000	1,065,637	134,363	大学報発行費
祝賀行事費	2,300,000	1,546,910	753,090	卒業記念品、学位記ホルダー
広報活動費	100,000	8,859	91,141	教育・課外活動功績紹介懸垂幕
学生行事費補助	3,500,000	3,500,000	0	大学祭補助
クラブ活動補助	35,000,000	20,167,737	14,832,263	活動費、参加費、講師料等
バス借上費	9,000,000	2,039,450	6,960,550	バス借り上げ・高速料金代等
学生支援費	300,000	337,364	△37,364	奨学生用資料郵送費、学生調査費等
キャリア支援費	1,500,000	1,089,264	410,736	就職対策講座費等
教育活動費	1,100,000	646,320	453,680	保護者懇談会諸費、生活指導啓発冊子等
環境整備費	500,000	332,178	167,822	キャンパス内環境整備費
図書補充費	1,500,000	1,486,816	13,184	学生用書籍・DVD購入費
厚生施設備品整備	2,000,000	858,304	1,141,696	学生厚生備品・学生食堂運営補助等
災害備蓄保険料	3,000,000	2,584,470	415,530	学生教育研究災害備蓄保険料等
慶弔費	600,000	333,000	267,000	香典等
雑費	300,000	220,846	79,154	振込手数料等
特別会計繰入	3,000,000	3,000,000	0	
[予備費]	500,000		500,000	
当年度支出合計	65,950,000	39,351,930	26,598,070	
次年度繰越金	6,510,903	32,010,587	△25,499,684	
支出の部 合計	72,460,903	71,362,517	1,098,386	

## 特別会計報告書 (2020年4月1日~2021年3月31日) (単位:円)

【厚生施設設備積立金】				
収入		支出		
科目	予算	決算	差異	備考
積立金	2,000,000	2,000,000	0	一般会計より繰入
雑収入	0	2,898	△2,898	受取利息
前期繰越金	32,223,045	34,223,045	0	次期繰越金
合計	36,223,045	36,225,943	△2,898	

【緊急時等対応基金】				
収入		支出		
科目	予算	決算	差異	備考
積立金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計より繰入
雑収入	0	174	△174	受取利息
前期繰越金	20,064,032	20,064,032	0	次期繰越金
合計	21,064,032	21,064,206	△174	

【後援会修学資金】				
収入		支出		
科目	予算	決算	差異	備考
積立金	0	0	0	奨学金貸付
雑収入	0	1,042	△1,042	受取利息
返還金	0	360,000	△360,000	
奨学金貸付未収入金				
前期繰越金	31,275,382	31,275,382	0	次期繰越金
合計	31,275,382	31,636,424	△361,042	

※雑収入(受取利息内訳 普通:184円、定期:858円) ※次期繰越金(内訳 普通:20,280,790円、定期:10,105,634円)

2020年度中部学院大学・中部学院大学短期大学部後援会 3月31日現在の収支報告は監査の結果、適正に執行されていることを認めます。

## 2021年度 後援会 会計予算書(案) (2021年4月1日~2022年3月31日) (単位:円)

【収入の部】				
項目	2021年度予算	2020年度実績	差異	備考
会費	63,328,000	59,579,000	3,749,000	1,979人×32,000円
雑収入	100	250,714	△250,614	預金利息
前年度繰越金	32,010,587	11,532,803	20,477,784	
収入の部 合計	95,338,687	71,362,517	23,976,170	

【支出の部】				
項目	2021年度予算	2020年度実績	差異	備考
会議費	400,000	93,705	306,295	役員会議費、交通費
事務費	150,000	41,070	108,930	事務用品、会計システム更新料
事業費	62,500,000	35,663,309	26,836,691	
大学報発行費	1,200,000	1,065,637	134,363	大学報発行費
祝賀行事費	2,300,000	1,546,910	753,090	卒業記念品、学位記ホルダー
広報活動費	100,000	8,859	91,141	教育・課外活動功績紹介懸垂幕
学生行事費補助	3,500,000	3,500,000	0	大学祭補助
クラブ活動補助	35,000,000	20,167,737	14,832,263	活動費、参加費、講師料等
バス借上費	9,000,000	2,039,450	6,960,550	バス借り上げ・高速料金代等
学生支援費	300,000	337,364	△37,364	奨学生用資料郵送費、学生調査費等
キャリア支援費	1,500,000	1,089,264	410,736	就職対策講座費等
教育活動費	1,100,000	646,320	453,680	保護者懇談会諸費、生活指導啓発冊子等
環境整備費	500,000	332,178	167,822	キャンパス内環境整備費
図書補充費	1,500,000	1,486,816	13,184	学生用書籍・DVD購入費
厚生施設備品整備	3,500,000	858,304	2,641,696	学生厚生備品・学生食堂整備費等
災害備蓄保険料	3,000,000	2,584,470	415,530	学生教育研究災害備蓄保険料等
慶弔費	600,000	333,000	267,000	香典等
雑費	300,000	220,846	79,154	振込手数料等
特別会計繰入	3,000,000	3,000,000	0	厚生施設積立金 緊急時等対応基金
[予備費]	3,500,000		3,500,000	コロナ対策・学生支援等
当年度支出合計	70,450,000	39,351,930	31,098,070	
次年度繰越金	24,888,687	32,010,587	△7,121,900	
支出の部 合計	95,338,687	71,362,517	23,976,170	

## 学生数・出身地・下宿 状況 (2021年4月2日現在)

学生数	学科	男	女	計
	人間福祉	252	182	434
子ども教育	100	207	307	
理学療法	159	115	274	
看護	55	284	339	
スポーツ健康科学	265	83	348	
別科	5	8	13	
合計	836	879	1,715	

※通信教育部は含まない

出身地	岐阜県内	1,123	65.5%
東海地区	278	16.2%	
その他(海外含む)	314	18.3%	

下宿状況	自宅生	1,169	68.2%
下宿生	546	31.8%	

学生数	学科	男	女	計
	社会福祉	39	131	170
幼児教育	5	165	170	
合計	44	296	340	

出身地	岐阜県内	256	75.3%
東海地区	10	2.9%	
その他(海外含む)	74	21.8%	

下宿状況	自宅生	249	73.2%
下宿生	91	26.8%	

東海地区:愛知県・三重県・静岡県

## 中部学院大学・中部学院大学短期大学部後援会会則

- (名称・事務所)  
第1条 本会は、中部学院大学・中部学院大学短期大学部後援会と称し、事務所を中部学院大学及び中部学院大学短期大学部事務局に置く。  
(目的)  
第2条 本会は、中部学院大学及び中部学院大学短期大学部(以下「大学」と称する)の教育の発展と、学生の福祉の増進に寄与することを目的とする。  
第3条 本会は、前条の目的達成のために次の事業を行う。  
(1) 「大学」教育の進展にかかる環境整備  
(2) 学生の福祉の増進と教職員の教育活動補助  
(3) その他、本会の目的を達成するために必要な事業

- (組織)  
第4条 本会は、次の会員をもって組織する。  
(1) 正会員 本学学生の保護者によるもの  
(2) 賛助会員 本会の趣旨に賛同し、寄付または所定の会費を納め、特に後援せられるもの  
(役員)  
第5条 本会に次の役員をおく。  
(1) 会長 1名 (3) 理事 若干名  
(2) 副会長 2名 (4) 監事 2名  
第6条 本会に顧問をおくことができる。  
第7条 役員の出選および任期は次のとおりとする。  
(1) 役員は総会に於いて、会員の互選によって選出する。  
(2) 役員任期は2カ年とする。但し、再選は妨げない。  
第8条 役員の仕事は次のとおりとする。  
(1) 会長は本会を代表し、必要に応じ役員会を招集し、その議長となる。  
(2) 副会長は会長を補佐し、会長不在の場合は、その職務を代行する。  
(3) 監事は本会の会計を監督する。

- (役員会)  
第9条 役員会は、役員を以て構成し、本会の運営について審議する。役員会は本会の議決機関とするが、決定事項は総会に報告しなければならない。  
第10条 役員会は、役員半数以上の出席によって成立する。  
(総会)  
第10条 総会は、毎年1回以上開き、役員の出選、並びに役員会の決定事項の報告を受ける。  
(委員会)  
第11条 本会に於いて、特に審議を必要とする事項が生じたときは委員会を設けることができる。  
2. 前項の委員会の委員は、会長の指名によって選出する。  
(会務の執行)  
第12条 本会の会務は大学に委嘱する。  
2. 大学は会務の執行状況を、役員会に報告しなければならない。  
(経理および会計年度)  
第13条 本会の経費は、会費および寄付金等をもって充てる。  
2. 会費は、大学の員申に基づき、役員会に於いて決定する。ただし、家計を一にする兄弟姉妹・親子等が在籍する場合、所定の申出書類を経て会費を1名分とする。  
3. 本会の会計年度は、毎年4月1日より翌年3月末日までとする。  
(会則の改正)  
第14条 本会の会則は、役員会に於いて、出席者の過半数の賛成によって改正することができる。  
第15条 本会の会長として活躍いただいた方の選任に際し、感謝状及び記念品を贈呈する。

- 附 則  
1 昭和42年4月18日「中部女子短期大学父兄会則」を施行  
2 昭和44年4月13日 一部改正  
3 昭和44年7月25日 一部改正  
4 昭和58年4月1日「中部女子短期大学父兄会則」を廃止し、「中部女子短期大学後援会会則」を施行  
5 昭和60年4月10日 一部改正  
6 平成9年4月26日「中部女子短期大学後援会会則」を廃止し、「中部学院大学・中部女子短期大学後援会会則」を施行  
7 平成11年4月1日「中部学院大学・中部女子短期大学後援会会則」を廃止し、「中部学院大学・中部女子短期大学後援会会則」を施行  
9 平成15年6月7日 一部改正

# TOPICS

## 看護師 国家試験 合格率100% コロナニモマケズ 夢の仕事勝ち取る

第110回看護師国家試験(2021年2月実施)において、看護リハビリテーション学部看護学科の4期生全員が合格を果たしました(全国平均全体90.4%)。合格率100%の達成は1期生、2期生に続いて、この4年間で3度目の快挙となりました。



同学科の国家試験対策の特徴として、2年次から国試対策に取り組み、早い段階から確実に看護師にとって必要不可欠な知識と技術を身に付けられるようにしています。3年次では実習経験を振り返りながら、問題の読解力の強化を図ります。4年次の後期からは「看護学特論」が始まり、各領域の専門教員が要点を伝え、本番に向けて追い込みをかけていきます。学生と教職員が一体となり、全員合格に向けて取り組んできました。

宮田延子学科長は、「今年度はコロナ禍にあり、4期生は実習などでは制約を受けましたが、最後の最後に地力を出し、学生一人一人の努力が大きな実を結び結果となりました」と振り返り、「この合格がさらなる自信になると思っています。このような状況ですが、使命感を持ち、医療現場で活躍してくれることと信じています」と期待を寄せました。

## DCAT後方支援員 81名を認定 県災害派遣福祉チームを後方支援

中部学院大学ならびに同短期大学部は、災害時に岐阜県災害派遣福祉チーム(岐阜DCAT)をサポートする「中部学院大学DCAT後方支援員」の認定式を行い、学生や教職員ら81名を認定しました(※9月よりDWAT=Disaster Welfare Assistance Teamに名称変更)



本学は昨年9月に岐阜県との間で締結した「岐阜県災害派遣福祉チームへの学生等ボランティアによる後方支援に関する協定」に基づき、災害時、県の派遣協力依頼に応じ、本学の学生、教職員を本学DCAT後方支援隊員として被災地の避難所などへ派遣することになっています。

DCAT後方支援員になるためには、高齢者、障がい者、乳幼児などの要支援者に対して支援を行うための研修を受けることが必須。今回の認定式では、養成研修を修了した学生や教職員が初めて認定を受けました。式はオンラインと同時で行いました。代表として認定書を受け取った看護リハビリテーション学部看護学科2年の五十川優美さん(池田高校出身)、短期大学部社会福祉学科1年の伊藤友華さん(八百津高校出身)=写真=は「災害に備えて知識や経験を積み、自己研さんしたい」と決意を語りました。



中部学院大学DCAT後方支援員として認定を受けた教職員と学生ら=関キャンパス

## 本年度より大学入学生にパソコン貸与開始 ICTが実践力を深める

今年度より大学の入学生にパソコン貸与を開始しました。パソコンは卒業時に贈呈され、新社会人となっても引き続き使用できます。短期大学部は来年度入学生から貸与を始めます。2年制では先進的な取り組みです。(大学院生、通信教育部生、留学生別科生、編入学生の新入生は対象外)



## 留学生に食料品を寄贈 CoCo壱番屋創業者 宗次徳二さんが激励

カレーハウスCoCo壱番屋創業者で、NPO法人イェロー・エンジェル代表理事ならびに本学客員教授の宗次徳二さんが4月、関キャンパスを訪れ、新型コロナウイルス感染症による影響で苦しい生活を送っている留学生に食料品などを寄贈しました。食料品の寄贈は昨年到现在に続いて2度目。



## 3Dプリンタで福祉用具を製作 カリキュラムに取り入れ 全国に先駆けて実施

短期大学部社会福祉学科介護福祉コース2年生の68名(留学生30名、職業訓練生13名含む)は、「生活支援技術」において、介護学習にICT技術を活用しようと、デジタル工作技術「3Dプリンタ」を使って独自の福祉用具を考案して製作するという全国的に極めて珍しい授業を展開しています。



## 「現代マネジメント研究」開催 第一線で活躍されている7名が登壇

各界の第一線で活躍している方々が講演する「現代マネジメント研究」。今年も7名の方々にご登壇いただきました。講師の皆さん  
▷カレーハウスCoco壱番屋創業者 宗次徳二氏 ▷日本産婦人科医会代議員 宮崎千恵氏 ▷秋田屋本店代表取締役社長 中村源次郎氏 ▷美濃歌舞伎博物館・相生座館長 小栗幸江氏 ▷臨濟宗妙心寺派神山山大禅寺住職 根本一徹氏 ▷岐阜県議会議員 若井敦子氏 ▷飛騨市長 都竹淳也氏



## 歯科助手資格養成校に認定 養成カリキュラムは県内教育機関で初

短期大学部は、公益社団法人岐阜県歯科医師会、一般社団法人各務原市歯科医師会、一般社団法人関歯科医師会、一般社団法人岐阜県歯科衛生士会と、歯科助手資格取得に関する協定を締結しました。県内の教育機関で歯科助手の養成カリキュラムを設けるのは初めて。



## 1年生にキッチンばさみを寄贈 木村刃物製作所「新生活に役立てて」

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、「新たな学生生活を始める学生を支援したい」というご厚意で、関市の刃物メーカー「木村刃物製作所」からキッチンばさみ約50丁が下宿している学生に寄贈されました。木村聡社長は「経済的、食育面で役に立てれば」と語りました。



## 地元の農産品などを動画で紹介 JAめぐみのと連携授業

JAめぐみのと連携し、短期大学部社会福祉学科美・デザインコースと医療事務コースの学生15名が、地元農産物や加工品のPR動画16作品を制作しました。包括連携協定に基づく授業の一環で昨年に続いて2回目。動画はJAめぐみの「とれったひろば」の関店と可児店の売り場で放映されています。



## 「現代福祉マネジメント」開催 特色ある取り組みを紹介

福祉現場で先進的な実践を行っている経営者らに福祉事業所の特色のあるサービスや人材育成などについて語っていただきました。各テーマは「障がい者就労支援事業所の立ち上げ 地域の中の施設の役割」「障がい者施設の歩み」「大型デイサービスの取り組みと介護人材の育成」「福祉用具開発とニーズに合わせた会社経営」「介護事業所の立ち上げと経営のポイント」「福祉用品レンタル事業の動向と展望」。



## 今後の予定

- 第30回中部手話スピーチコンテスト ※  
11月20日(土)各務原キャンパス
- 第19回いきいき地域!たのしみ祭・大学祭 ※  
11月27日(土) オンライン開催
- クリスマス礼拝  
12月20日(月)関キャンパス

- クリスマス祝会 ※  
12月20日(月)関キャンパス(各務原キャンパスは日付未定)
- 各種表彰式・卒業礼拝  
2022年3月18日(金)関キャンパス
- 卒業式  
2022年3月19日(土)長良川国際会議場

※ … 開催方法等検討中





中部学院大学  
同短期大学部

関キャンパス 〒501-3993 岐阜県関市桐ヶ丘二丁目1番地 TEL 0575-24-2211  
各務原キャンパス 〒504-0837 岐阜県各務原市那加翔田町30-1 TEL 058-375-3600

[大学院] 人間福祉学研究科 修士課程 博士課程(後期)  
[大学] 人間福祉学部 人間福祉学科(社会福祉コース/精神保健福祉コース/介護支援コース/地域貢献コース)通信教育部  
教育学部 子ども教育学科(小学校・中学校教諭コース/幼稚園教諭・保育士コース)  
看護リハビリテーション学部 理学療法学科 看護学科  
スポーツ健康科学部 スポーツ健康科学科(スポーツ健康領域/スポーツマネジメント領域/障がい者スポーツ領域/保健体育科教育領域)  
[短期大学部] 幼児教育学科(あそびすとコース/障がい児支援コース/子育て支援コース)  
社会福祉学科(介護福祉コース/美・デザインコース/医療事務コース)